平成 23 年 3 月 17 日発行

HIDWR

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

兵庫県感染症発生動向調査週報（速報）

平成 23 年第 10 週（3 月 7 日～3 月 13 日）

兵庫県感染症情報センター（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

インフルエンザ

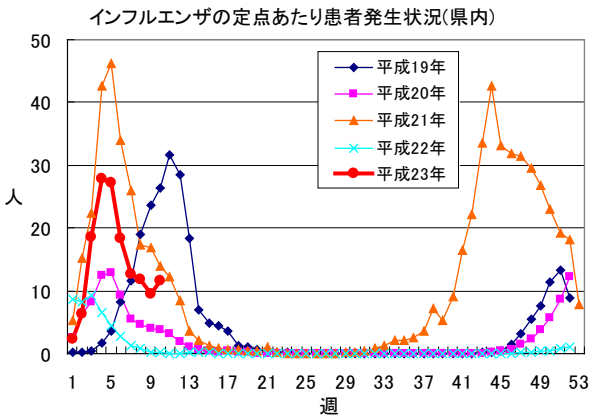
定点あたり患者数は 5 週連続で減少していましたが、今週 **11.56 人**（先週の 9.50 人）と増加し、注意報レベルである定点あたり 10 人を上回りました。地域的にみると、定点あたり 30 人以上の保健所管内はなくなりましたが、姫路市、伊丹、明石、加古川、加東、朝来の 6 保健所管内が警報レベルの終息基準値である定点あたり 10 人以上となっています。

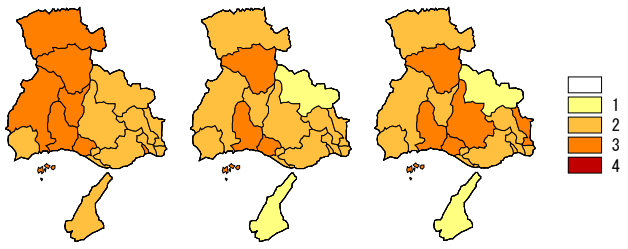
全国的には、北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県などの 32 都道府県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の 9 府県に注意報レベルの保健所管内があります。

兵庫県内の学級閉鎖等（第 10 週）の状況は、施設数 111 か所（先週 86 か所）、患者数 1,072 人（同 810 人）、欠席者数 1,003 人（同 709 人）と増加しました。

兵庫県立健康生活科学研究所：健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに 177 検体のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は新型インフルエンザ（AH1pdm）138 件（78%）、A 香港型（AH3 亜型）32 件（18%）、B 型 7 件（4%）と、新型インフルエンザ（AH1pdm）の割合が大部分を占めていますが、2 月の中旬以降 A 香港型の検出数が増加しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。





8 週　9 週　10 週

（例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。）

インフルエンザ重症サーベイランスの概況

県疾病対策課より情報提供がありましたので掲載します。

インフルエンザ重症サーベイランスの概況　平成23年1月1日以降　（平成23年3月15日時点）

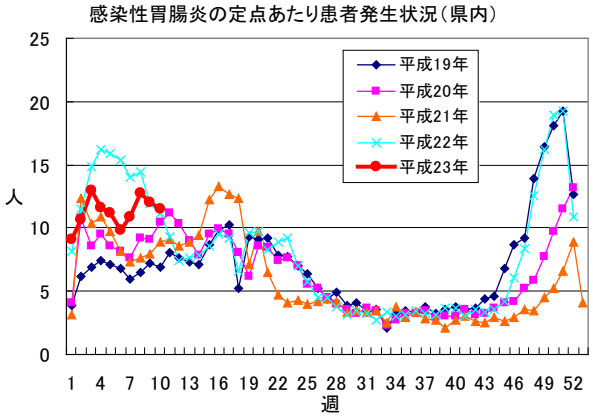
	1歳未満		1～4歳		5～9歳		10～14歳		15～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		計	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
兵庫県総数		0		1		0		0		2		2	1	4		2		4		4		4	1	5	2	28
うち基礎疾患を有する者		0		1		0		0		2		2		2		2		2		3		4	1	5	1	23
うち死亡者数		0		1		0		0		1		1		1		0		1		1		2	1	5	1	13
うち基礎疾患を有する者		0		1		0		0		1		1		0		0		1		1		2	1	5	1	12

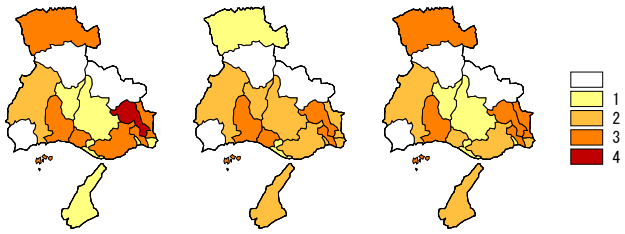
	新型(A/H1N1)		A ソ連型(H1)		A香港型(H3)		A型（亜型不明）		B型		調査中		計	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
兵庫県総数		12		0		3	2	12		0		1	2	28
うち死亡者数		4		0		1	1	8		0		0	1	13

※1　インフルエンザ重症サーベイランスは、入院中に一時期でも急性脳症に罹患、人工呼吸器装着を装着、集中治療室に入室の患者、死亡者が対象。
※2　今週とは、先週月曜日から日曜日とする。今週以外で修正があった場合は累計に反映する。

感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **11.54 人**（先週は 12.00 人）と減少しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。





8 週　　9 週　　10 週

（例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。）

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

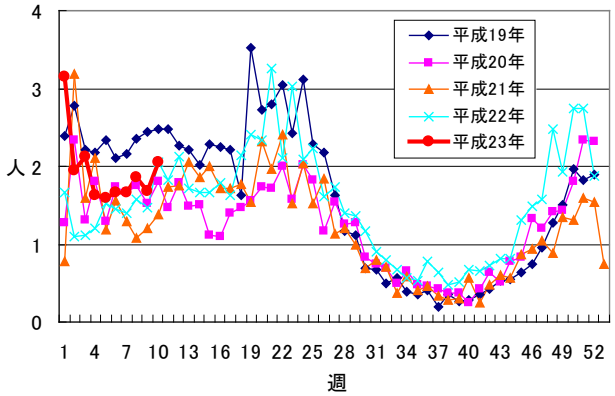
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	インフルエンザ	11.56	9.50	＋2.06	6 位	咽頭結膜熱	0.91	0.78	＋0.13
2 位	感染性胃腸炎	11.54	12.00	－0.46	7 位	伝染性紅斑	0.70	0.54	＋0.16
3 位	A 群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	2.13	2.01	＋0.12	8 位	流行性角結膜炎	0.51	0.63	－0.12
4 位	水痘	2.05	1.68	＋0.37	9 位	突発性発しん	0.41	0.58	－0.17
5 位	流行性耳下腺炎	1.45	1.05	＋0.40	10 位	RS ウイルス感染症	0.35	0.55	－0.20

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

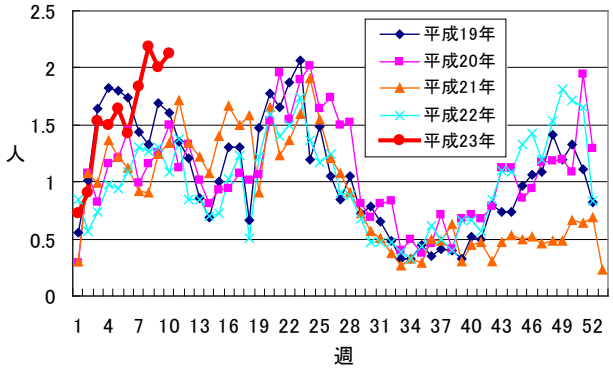
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	**結核　３５名**（神戸市 14 名、尼崎市 2 名、姫路市 5 名、西宮市 2 名、伊丹保健所管内 3 名、宝塚保健所管内 2 名、明石保健所管内 2 名、加古川保健所管内 2 名、龍野保健所管内 1 名、朝来保健所管内 1 名、丹波保健所管内 1 名）
3 類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症　１名**（有症者 1 名）（宝塚保健所管内；O103 VT1+ 女性 60 歳代）（累積報告数 5 名；有症者 1 名、うち HUS 0 名）
4 類感染症	**E 型肝炎　１名**（神戸市；男性 40 歳代　感染地域；国内、感染経路；不明）、**レジオネラ症　１名**（西宮市；肺炎型　女性 70 歳代　感染地域；国内、感染経路；水系感染）
5 類感染症	**後天性免疫不全症候群　１名**（無症候性キャリア）（感染地域；国内）（感染経路；異性間性的接触）、**風しん　１名**（明石保健所管内；検査診断例　男性 30 歳代）
追 加 報 告	**結核　７名**（尼崎市 2 名、姫路市 1 名、宝塚保健所管内 1 名、加古川保健所管内 1 名、加東保健所管内 1 名、龍野保健所管内 1 名）

目で見る動向（県内）

水痘の定点あたり患者発生状況（県内）

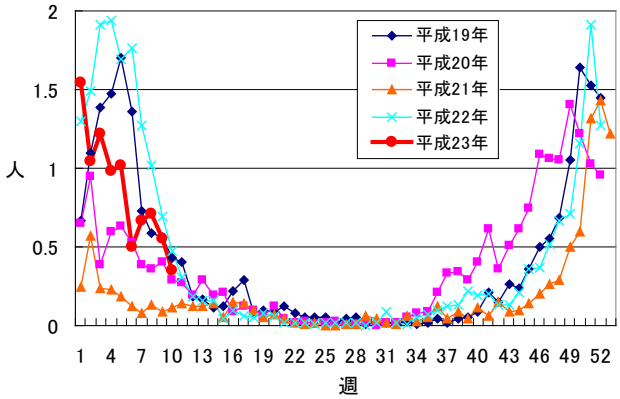


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の
定点あたり患者発生状況（県内）

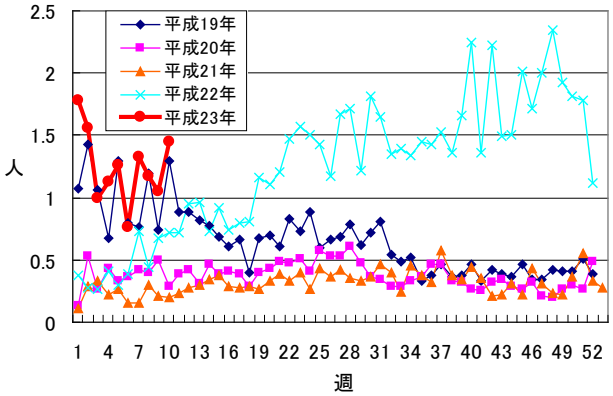


例年同時期と比較して患者数が多い。

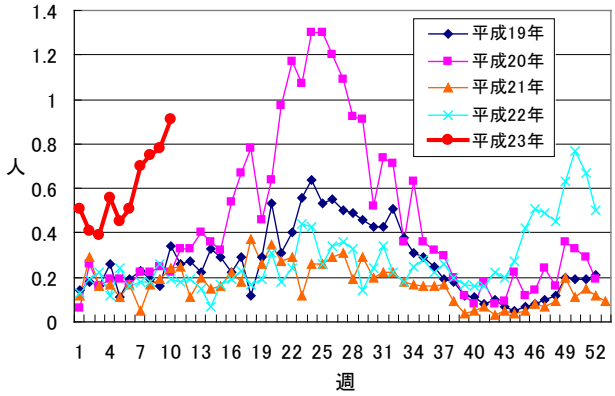
RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況（県内）



流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況(県内)

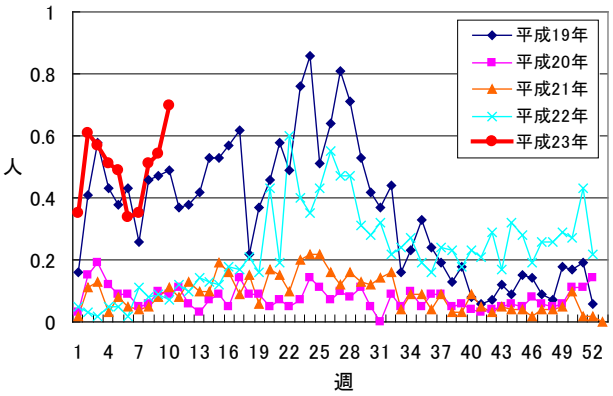


咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ http://www.hyogo-iphes.jp/ にも掲載しています。

また、http://idsc.nih.go.jp/index-j.html から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。